

謹んで

三浦一党御尊靈ごそんれいに対し

起請文きしょうもんを申しあげます

起請文きしょうもん

横須賀を故郷こきょうとし、またこの地をこよなく愛いつくしむ

衣笠観光協会及び有志一同 謹んで三浦大介公御一党の

御尊靈ごそんれいに申し上げます

この度たび 衣笠さくら祭にあたり武者行列を編組へんそし挙行きょこう

致すことと相成りました

すなわち 此の錦繡河山きんしゅうかさんの裡うちに生を営み得るは粗宗そそうの

御加護の賜たまものと常々より深く感恩かんおんの念を禁じ得ず 此の度

は東国武士の雄ゆう 関東八平氏の筆頭大介殿御一党の御偉業ごいぎよう

御遺徳ごいとくを偲しのび その御勇姿を再現する所存であります

この武者行列は今日の市民に悠久八百年の歴史を供覧きょうらんし

此の地の由来を訓おしえ仰あおぎて 後遺徳ごいとくを偲しのぶよすがと成る

ものと信じます

治承四年八月十七日頼朝公伊豆の石橋山にて挙兵のとき

おおすけよしあきこう
大介義明公はいちはやくこれに呼応し精鋭を動員蹶起けつき

八月二十六日あさまだき——三千の畠山勢おしよせるやこれを

相手に衣笠合戦きぬがさかつせん——三浦党は房州に向けて戦略撤退し大介公

は唯一騎残りただ——八十九才の老の身を城を枕に討死にされま

した

生等せいら——歴史の壮絶に深く感ずる所あり御一党出陣の隊容を

此の世に再現し子子孫孫に故山の史実を伝うるを得ますれば

正に望外まさ ぼうがいの幸せと申すのみであります

この故に生等ゆえ せいらの武者行列は仮装の武者人形行列にあらず

まことに此の地に天恩を蒙りある生等てんおん こうむ せいら有志一同の微衷びちゆうに

発するものに他なりません

大介公御一党の御霊みたま——よく生等の微意を御照覧掬せられ

此の地横須賀の繁栄市民の安泰のため末長く御加護ごかごを

賜りますよう謹んで御祈願申し上げます